

## 第 16 回「青少年のための科学の祭典 2019 亀山大会」に出展しました！

11 月 9 日（土曜日）、亀山市青少年研修センターにて「第 16 回青少年のための科学の祭典 2019 亀山大会」が開催され、当署からは「木を使おう」というテーマで出展をしました。「青少年のための科学の祭典」は、子どもたちに自然科学の面白さを楽しみながら体験してもらうことを目的に各地で開催されています。

当署のブースでは、森林が雨の水を貯える機能があること（水源かん養機能）や、森林から生産される木材が家や家具などに使われること（物質生産機能）、またその森林を育てるためには多くの人たちの世話が 필요한ことを説明し、そうした森林の機能や林業をイメージしたジオラマづくり（木工工作）をしてもらいました。

森林の多面的機能についてはこちら（林野庁 HP）

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/tamenteki/index.html>

訪れた人たちは、配布された下じきで森林の機能や林業の説明を職員から受けた後、見本等を参考にイメージをふくらませて、ジオラマの材料とする木の板や木の実を真剣に選んでいました。いざ木の実の接着を始める前には、加熱された接着剤に触ると火傷する恐れがあることを伝え、小さな子には職員か親御さんがついて、安全に木工工作を行いました。



こんな作品作ってみてね



どれがいいかな

ブースには、多くの方々が途切れることなく訪れ、一人あたり 30 分という限られた時間の中で、見本を元にした作品や、展示していた森林鉄道の写真を元にした作品など、様々な素敵な作品ができました。



ブースの状況



森林鉄道の写真も展示していました。

今回の作品づくりを通して、森林や林業に少しでも関心を持ってもらえたら幸いです。三重森林管理署では、来年も科学の祭典に出展する予定ですので、参加をお待ちしています！



森に関するいろんな作品できました